様式第2号

事業者温室効果ガス削減報告書概要（第二計画期間）　第 2 年度分

1　事業所の概要

事業者の名称	株式会社LIXIL	
事業所の名称	株式会社LIXIL八乙女拠点	
事業所の所在地	仙台市泉区八乙女1－1－23	
主たる事業	金属製品製造業	
事業者の該当要件		条例第2条第5号イに該当する特定事業者
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者
		条例第2条第5号ハに該当する特定事業者
	○	条例第15条第1項に該当する一般事業者

2　温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2022　年度	基準排出量	63.4 t-CO_2	基準原単位	54.19
	目標年度	2025 年度	目標排出量	61.4 t-CO_2	目標原単位	52.48
			削減率	3.15 %	削減率	3.15 %
			非化石電気	%	その他非化石エネルギー等	%
温室効果ガスの排出状況	第１年度	2023 年度	排出量	55.9 t-CO_2	排出原単位	47.78
			削減率	11.82 %	削減率	11.82 %
			非化石電気	0.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
	排出量等の増減理由	第１年度に関しては想定目標以上の削減率となりました。省エネ意識の定着と夏場のデマンド管理が機能したことに加えて暖冬傾向であったことが起因していると思われます。				
	第２年度	2024 年度	排出量	0.0 t-CO_2	排出原単位	0
			削減率	100.00 %	削減率	100.00 %
			非化石電気	100.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
	排出量等の増減理由	電気使用量については、12月～2月の寒気の影響で基準年度より2.2%増加した。しかしながら、電力会社の契約を再エネ先としたために、CO2排出量は 0 となった。				
	第３年度	2025 年度	排出量	t-CO_2	排出原単位	
			削減率	%	削減率	%
			非化石電気	%	その他非化石エネルギー等	%
	排出量等の増減理由					

3　温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	75 %	目標年度	100 %
	第１年度	100 %	実施状況の説明等	基本対策については実施されています。
	第２年度	100 %	実施状況の説明等	エコドライブについては、Eテレマにより速度超過、急発進、急停止、アイドリング時間等を管理してるが、他のエリアに比べて回数が多い傾向があり改善が必要。
	第３年度	%	実施状況の説明等	

（一般事業所等用）

様式第2号

	項目		実施状況
選択対策の実施状況	エネルギー消費機器管理台帳の整備		一部実施済
	エネルギー使用量の見える化（前年度比較）		実施済
	デマンド管理		実施済
	燃費性能の良い車両の計画的導入		実施済
	エコドライブ教育実施		実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	環境マネジメントシステムの導入	製造拠点および物流拠点を対象にISO14001認証を取得。	実施済
	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	グループとして、SBTおよびRE100に加盟。	実施済
	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	【国内】 全国の営業拠点については、ほぼ全ての拠点で電気を再生可能エネルギーに切替え済。工場・物流センターでも同様に導入を拡大中。 （2023年9月時点：営業84拠点、工場・物流25拠点）	実施済
	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	【海外】 水栓金具を生産している全工場（欧州・アジア・北米）で、RE100を達成。	実施済
	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	【全体】 老朽化設備をエネルギー効率の良い省エネ設備に入れ替え。	未実施
	廃棄物削減対策の実施	【国内】 生産時の不良率低減による廃棄物削減。 廃プラスチックを原料に再利用した商品の販売を開始。	実施済
	廃棄物削減対策の実施	【海外】 生産時の不良率低減による廃棄物削減。 埋立処理していた品目を、新規業者を開拓しリサイクル処理に変更。（主に北米）	実施済
	カーボンオフセットの実施	【お客様】 省エネ性能の高い製品を開発し、お客様が使用される際のCO2排出を抑制、	実施済